

IV でん粉に関する情報業務

(1) 定期情報収集整理

情報業務を実施していく上での基礎資料として、国内外の文献、業界関連資料、各種研究会報告書、貿易関係統計資料等の各種情報を収集・整理し、関係者等に提供した。関係図書、データ類を購入した他、でん粉、化工でん粉及びとうもろこしの通関統計を分かりやすく集計した。

(2) 国内地域動向調査

国内各地域におけるでん粉とその原料作物の生産動向等を明らかにするため、機構本部及び事務所においてでん粉とその原料作物等の生産、流通、消費の動向等についての情報を収集・整理した。

(3) でん粉需要実態調査

国内産いもでん粉は、これまで主用途であった糖化用以外の販路の確保、拡大に向けた積極的な取り組みが求められているうえ、国内産いもでん粉と競合する輸入化工でん粉のシェアが年々増加している。このため、今後の国内産いもでん粉の販路拡大に向けた取り組みに資するため、国産でん粉、輸入でん粉、化工でん粉などのユーザーにおける需要実態について調査した。

(4) 海外でん粉事情調査

世界のでん粉需給動向、貿易統計、主要都市の卸売価格等について、LMC社（英国オックスフォード）及びJEC社（タイ国バンコク）へ調査を委託し、月別、四半期別、年度別に取りまとめた。

また、主要国（米国、EU、タイ）におけるでん粉の産業及び政策に係る調査を委託した。

(5) 機構職員による海外現地調査

タイ国、米国カリフォルニア州、EUにおいて現地調査を実施し、その結果を現地調査報告会や「でん粉情報」、ホームページを通じて関係者に提供した。

(6) 「でん粉情報」の発行

国内及び海外のでん粉に関する情報及び機構が行った調査の結果等について、関係業界、消費者等に広く提供するため、「でん粉情報」として10月号より発行し、毎月600部を発行した。

(7) インターネット・ホームページ、メールマガジンによるでん粉情報の提供

情報収集事業等において収集・整理したでん粉に関する国内外の情報や各種調査結果等を広く提供するとともに、消費者コーナーを活用し、消費者のでん粉への理解を促進した。

(8) でん粉情報検討委員会

農畜産業の動向、情報利用者等のニーズを的確に把握し、情報収集提供業務の改善に資するため、専門家、情報利用者、消費者等幅広い分野の参画を得た情報検討委員会を設置し、意見を聴取した。

(9) 地域情報交換会

でん粉・でん粉原料用ばれいしょに関する生産、流通、消費、制度等に係る課題・取組等について、地域のニーズに応じた情報提供を行い、さらに関係者間による情報提供・意見交換を行うため、機構事務所において地域情報交換会を開催した。

(10) 専門調査員調査

でん粉及びでん粉原料用作物の生産及び流通について、専門的かつ客観的に分析を加えて関係者に提供するため、外部の学識経験者による専門調査員を設置し、専門調査員による現地調査を実施した。